

被災地のお母さんと赤ちゃんのために
私たちができること。

被災地では、元の生活に戻れない母子がたくさんいます。

お母さんが安心して育児ができるように
赤ちゃんの笑い声がいっぱいになるように

一緒に支えてください。

被災地の復興は、

“あなたの思い”

から始まります。



一般社団法人ジェスペールは、【東北こそだてプロジェクト】を立ち上げ
助産師による被災地の妊婦さんや産後のお母さんへのサポートを支援しています。

✳️ J'espère ～被災地のママと赤ちゃんに笑顔を～

住所：東京都中野区松が丘 1-10-13

電話：090-4611-0904（宗）16時～20時

メール：info@tohokumama.org

<http://tohokumama.org/>

ジェスペール

検索



『東北こそだてプロジェクト』って？

東北こそだてプロジェクトでは、現地で支援活動を行う助産師とネットワークを作り、各地での妊産婦への支援活動を、資金面・人材面・その他様々な面で連携を取りながら支えています。
また、被災地の現状を広く社会に発信し、母子支援の必要性を訴えています。

東北こそだてプロジェクトって？

東日本大震災で被災した妊産婦が、安心して出産と子育てを行えるよう、現地の助産師が支援活動を行います。

場所：被災地（岩手県・宮城県・福島県）及び避難地（新潟県・東京都など）

対象：未就学児を抱えサポートが必要な妊産婦 約11万人



現地では、どんな支援をしているの？

赤ちゃんのために、育児相談、発育相談、母乳相談など、お母さんのために、体とこころのケア、産後うつなどのメンタルケアを行います。

仮設住宅への巡回訪問、駆け込み寺としての宿泊施設の運営などを行っています。



なぜ助産師支援が必要なの？

震災後、身内や友人を亡くしたり、また離れた生活の中で赤ちゃんを抱え孤立しているお母さんもいます。

助産師がお母さんに寄り添うことで、大切にされることを実感し、子どもに愛情を注ぐことができます。



助産師って何をしている人？

助産師は、妊婦さんの出産を手助けし、赤ちゃんを取り上げてくれるお産の専門家です。妊娠時にはスムーズな出産に向けた過ごし方を指導し、出産後はお母さんの体調や母乳の相談に応じます。出産前後の女性に寄り添う存在です。



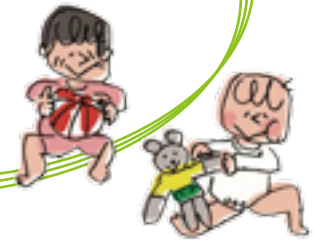
一般社団法人ジェスペールの役割は？

現地で支援活動を行う助産師とネットワークを作り、被災地の現状を広く社会に発信し、母子支援の必要性を訴えています。



一般社団法人ジェスペールって？

助産師である宗祥子（松が丘助産院院長：東京都中野区）を代表とし、妊産婦や母子の育児支援を行うために設立された法人です。



東北被災地のお母さんを一緒に支えてください。

被災地のお母さんたちを継続してサポートするために、ジェスペールへのご支援をお願い致します。

赤ちゃんイラストワタナベグレイチ

■ 寄付金のお振込先

金融機関名：西武信用金庫 薬師駅前支店

口座番号：普通口座 1190393

口座名称：(社)ジェスペール 東北こそだてプロジェクト

・ジェスペールホームページ <http://tohokumama.org/> からもお申し込みができます